

昭和音楽大学 グローバルな舞台で活躍する 新進芸術家育成プログラム

大学と芸術関連組織の連携による新たな人材育成への挑戦

参加費
無料

要事前申込
定員制

世界で活躍するアーティストに必要なのは、卓越した技術だけではありません。現場での実践経験に加えて、社会の動きを適切にとらえる国際感覚、そしてセルフマネジメント力これらすべてが、これからの芸術家に求められています。こうした力を身につけるために、昭和音楽大学では、各分野の第一線で活躍する講師陣による2つの講座と、オペラの制作現場公開(リハーサル見学)を実施します。

国際的なキャリアを目指す新進芸術家の方はもちろん、文化施設・自治体・芸術団体・音楽事務所等の職員の方や、その道を志す皆さまのご参加をお待ちしております。

写真:昭和音楽大学
オペラ公演2023
「愛の妙薬」

世界で活躍するために 必要な実践力、国際感覚、セルフマネジメントについて学べる 講座・実践学習3コースと、その中核となるオペラ公演

A
コース

グローバルな活躍を目指す
新進芸術家育成講座

グローバル講座編

対面
オンライン
録画
配信
ハイブリッド講座

世界で活躍するために必要な視点や実践的知識を学びます。

開講日：2025年9月9日(火)、13日(土)、14日(日)

担当講師：下野ツヨシ／石田麻子／入山功一／吉田純子／乾 美宇／
マルコ・ガンディーニ／堀岡佐知子

B
コース

グローバルな活躍を目指す
新進芸術家育成講座

セルフマネジメント講座編

対面
オンライン
録画
配信
ハイブリッド講座

自身を社会に発信する方法やキャリアの築き方を学びます。

開講日：2025年11月30日(日)

担当講師：椎葉克宏／石田麻子

C
コース

昭和音楽大学オペラ公演2025
G.プッチーニ オペラ《ラ・ボエーム》
制作現場見学を通じた実践学習

本学オペラ公演の制作現場を公開し、制作プロセスや
舞台運営上の課題とその解決方法を共有します。

開講日：2025年9月15日(月・祝)・20日(土)、10月5日(日)・10日(金)

ナビゲーター：馬場紀碧

オペラ公演

昭和音楽大学オペラ公演2025

G.プッチーニ オペラ《ラ・ボエーム》

指揮：ニコラ・パスコフスキ 演出：マルコ・ガンディーニ

日時：2025年10月11日(土)、12日(日) 両日14:00開演

会場：昭和音楽大学 テアトロ・ジューリオ・シエウワ

主催：昭和音楽大学

企画監修：石田麻子(昭和音楽大学教授)

A コース

グローバルな活躍を目指す新進芸術家育成講座

グローバル講座編



研修概要

本講座は、新進芸術家が世界の舞台で活躍するために必要な視点や実践力を学ぶことを目的とします。講師は『新 クラシック・コンサート制作の基礎知識』の執筆者を迎えるほか、特別編では世界各地の歌劇場で活躍する演出家マルコ・ガンディーニ氏が、オペラ演出の実際と国際的キャリア形成について語ります。

参考文献：『新 クラシック・コンサート制作の基礎知識』編纂：石田麻子
(ヤマハミュージックエンタテインメントホールディングスミュージックメディア刊)

受講 募集人数

①対面／各回100名 ②同時双方向型／各回100名(Zoom) ③録画配信型(後日)／各回100名(YouTube)
※オンラインで受講される方の受講環境の準備及び通信料は、参加者負担となります。

受講条件

各回受講後、受講レポートをご提出いただきます。

会場

第1回～第4回の会場は、いずれも昭和音楽大学南校舎 A214教室
特別編の会場は、昭和音楽大学南校舎 C511教室



2023年公演「愛の妙案」より

1日目 9月13日(土)

●第1回 — 「見せたい情報を魅せる」～コンサート・デザインの極意～

時間：13:00 ～ 14:30

講師：下野ツヨシ[グラフィックデザイナー、アートディレクター]

コンサート・デザインの分野で培われた豊富な経験と知見をもとに、
情報を視覚的に“伝える”だけでなく“惹きつける”ためのデザイン発想を学びます。

●第2回 — 「日本の文化政策と舞台芸術」～日本の文化政策における新進芸術家人材育成の未来を描く～

時間：14:45 ～ 16:15

講師：石田麻子[本学教授・舞台芸術政策研究所所長・学長補佐]

文化政策の視点から日本の舞台芸術の現在地を見つめ、新進芸術家の人材育成に求められる環境と視点を展望します。

2日目 9月14日(日)

●第3回 — 「マネジメントの世界を知る」～グローバルに打ち出すためのHow Toについて～

時間：13:00 ～ 14:30

講師：入山功一[(一社)日本クラシック音楽事業協会会長、(株)AMATI代表取締役社長]

国際的な音楽マネジメントの最前線から、グローバルに活動を展開していくための戦略と視座を学びます。

●第4回 — 「コンサートを検証する」～世界における日本の音楽界の位置～

時間：14:45 ～ 16:15

講師：吉田純子[朝日新聞編集委員]／乾 美宇[(株)ジャパン・アーツ]

石田麻子[本学教授・舞台芸術政策研究所所長・学長補佐]

メディア、マネジメント、研究など多様な立場から、日本の音楽界の位置を問い直し、世界との関係性を改めて探ります。

特別編

9月9日(火)

「世界の舞台芸術制作を知る」

～世界の歌劇場と日本の新進芸術家の未来～

時間：18:30 ～ 20:00

講師：マルコ・ガンディーニ[演出家]／堀岡佐知子[オペラコーチ]

世界各地の歌劇場で築かれてきた演出と制作のリアルに迫り、国際的なキャリア形成の実際と可能性を紐解きます。

B コース

グローバルな活躍を目指す新進芸術家育成講座 セルフマネジメント講座編

研修概要

本講座は、新進芸術家がアーティストとしての自分を社会に発信し、キャリアを築いていくために必要な視点や方法を学ぶことを目的とします。内容は『クラシック音楽家のためのセルフマネジメント・ハンドブック』を軸に展開し、自己分析や広報戦略、発信力の高め方などを具体的に学びます。

参考文献：『クラシック音楽家のためのセルフマネジメント・ハンドブック』
ベルンハルト・ケレス、ベッティーナ・メーネ 著／後藤菜穂子 訳／石田麻子 日本語版監修(アルテスパブリッシング刊)

受講 募集人数

①対面／各回100名 ②同時双方向型／各回100名(Zoom) ③録画配信型(後日)／各回100名(YouTube)
※オンラインで受講される方の受講環境の準備及び通信料は、参加者負担となります。

受講条件

各回受講後、受講レポートをご提出いただきます。

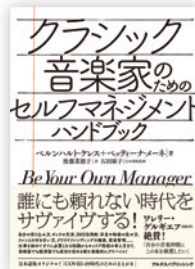
会場

昭和音楽大学南校舎 A214教室

講師

椎葉克宏[本学講師・(一社)コンサートプロモーターズ協会(ACPC)客員研究員]

石田麻子[本学教授・舞台芸術政策研究所所長・学長補佐]



前回のセルフマネジメント講座より

開催日

11月30日(日)

●第1回 — ステージで最高のパフォーマンスを引き出す方法

時間：13:00～14:30

同じ曲を何度も何度も演奏する音楽家にとって大切なのは「今を生きることができるか」と語る、演技トレーナー・皆川真澄氏をゲストに迎え、「演技のメソッドを演奏に活かす」という斬新な方法について考えます。

ゲスト：皆川真澄[idea actors school代表：アクティングコーチ]

●第2回 — 自分を分析し聴き手との深いエンゲージメントを築く

時間：14:45～16:15

ゲスト：杉山沙織(メゾ・ソプラノ)、河野大樹(テノール)、徐 大愚(バス・バリトン)、林 直樹(ピアノ/コレペティトウア)

※一部ゲストは、海外からオンラインによる参加となります。

国際的に活躍する新進芸術家をゲストに迎え、キャリア形成の視点やそのプロセスを掘り下げます。

若手アーティストが長期的に活動を続けていくために必要な戦略や方向性を見つけるきっかけとなる講座です。

C コース

昭和音楽大学オペラ公演2025《ラ・ボエーム》 実地見学

リハーサル見学を通じた実践学習

研修概要

本研修では、本学オペラ公演の制作現場(リハーサル)を、新進芸術家や関連職種に従事する方々に公開し、制作プロセスの具体的なステップや舞台運営上の課題とその解決方法を共有します。現場に立ち会うことで、理論だけでは得られない実践的な知見を獲得し、国内外の劇場やフェスティバルでも通用する現場対応力を養います。

レクチャー付 ①立ち稽古：9月15日(月・祝) 14:30～17:30
実地見学 9月20日(土) 10:30～13:30
②場当たり・舞台稽古：10月5日(日) 12:30～16:30
③総練習(ゲネプロ)：10月10日(金) 15:00～18:00

指揮：ニコラ・パスコフスキ 演出：マルコ・ガンディーニ ナビゲーター：馬場紀碧(①②③)



テアトロ・ジューリオ・ショウワ



スタジオでの通し稽古の様子

受講募集人数

50名

受講条件

①②③の計4日間参加(ゲネプロは参加必須) 受講レポートをご提出いただきます。

会場

昭和音楽大学 北校舎、南校舎、テアトロ・ジューリオ・ショウワ

オペラ公演

昭和音楽大学オペラ公演2025

G.プッチーニ オペラ《ラ・ボエーム》

指揮：ニコラ・パスコフスキ 演出：マルコ・ガンディーニ

日時：2025年10月11日(土)、12日(日) 両日14:00開演

会場：昭和音楽大学 テアトロ・ジューリオ・ショウワ



ニコラ・パスコフスキ



マルコ・ガンディーニ

※Aコースの第1～4回を全て受講された方(オンライン受講の場合は9/30(火)までに受講)には、実演舞台の事例研究として、左記公演(1回)を無料で見学する機会を提供します。なお、公演鑑賞後に、レポートを提出いただきます。



Marco
GANDINI

マルコ・
ガンディーニ

ミラノ・スカラ座、ローマ・オペラ座をはじめイタリアの主要歌劇場で定期的に活動し、メトロポリタン・オペラなど国際的に活躍。スカラ座アカデミーで新進歌手のための表現技術法の教鞭をとるほか、本学では2003年より招聘教授として指導にあたり、学生の絶大な支持を得る。昭和音楽大学客員教授。



Sachiko
HORIOKA

堀岡 佐知子

昭和音楽大学短期大学部声楽コース卒業、同専攻科及びディプロマコース修了。ミラノスカラ座歌劇場に渡り研修。G.ニコリーニ音楽院ピアノソロ科ディプロマ取得。2003年より、M.ガンディーニ氏の専属演出補として、イタリア各地のオペラ劇場の公演や、藤原歌劇団、昭和音楽大学オペラ公演など、現在まで協力関係が続く。昭和音楽大学客員教授。



Tsuyoshi
SHIMONO

下野 ツヨシ

デザイナー。辞書や検定教科書、書籍や雑誌のブックデザインやアートディレクションを務める一方、音楽公演やアルバムジャケットのデザインを多数手がけている。日本図書設計家協会理事。
トロンボーンを吹くが下手くそ。



Asako
ISHIDA

石田 麻子

昭和音楽大学教授・学長補佐、東京藝術大学非常勤講師などを務め、単著に『市民オペラ』『芸術文化助成の考え方』、日本語版監修に『クラシック音楽家のためのセルフマネジメント・ハンドブック』などがある。
博士（学術）



Koichi
IRIYAMA

入山 功一

©堀田力丸

大学在学中より音楽事務所勤務。現在、(株)AMATI代表取締役社長、(一社)日本クラシック音楽事業協会会長、宮崎国際音楽祭アシスタント・ディレクター、青い海と森の音楽祭事務局、大阪国際室内楽コンクール専門委員、PMF組織委員会顧問。



Junko
YOSHIDA

吉田 純子

©御堂義乗

朝日新聞コラムニスト、編集委員。和歌山市生まれ。東京藝術大学音楽学部楽理科卒業、同大学院音楽研究科修了。伴奏ピアニスト、音楽ライターを経て97年朝日新聞社入社。仙台支局、整理部、広告局広告第4部（金融担当）などを経て現職。コラム「日曜に想う」などを担当。



Miu
INU I

乾 美宇

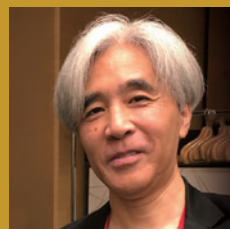
株式会社ジャパン・アーツに勤務。学生時代にオペラ制作を経験したのを機に、音楽業界に興味をもつ。現在は海外招聘企画のプランニング、営業、国内外のアーティスト・マネジメントに携わる。
東京藝術大学音楽学部楽理科卒業。



Norio
BABA

馬場 紀碧

昭和音楽大学声楽科卒業後演出家を志す。平成12年度文化庁芸術家在外研修員、(財)ロームミュージックファンデーション在外研修生として渡欧。
「シラノ・ド・ベルジュラック」「復活」「じゃじゃ馬ならし」等の日本初演をはじめ、百数十公演の名作オペラを演出。昭和音楽大学講師。



Katsuhiko
SHIIBA

椎葉 克宏

昭和音楽大学講師、一般社団法人コンサートプロモーターズ協会（ACPC）「ライブ・エンタテインメント・ラボ」客員研究員。『月刊デビュー』、オリコンが発行する『コンフィデンス』編集長として、長年に渡り新人発掘や業界課題に取り組む。

対象

全コース共に、国際的な舞台での活躍を目指す新進芸術家および関連職種（文化施設・自治体・芸術団体・音楽事務所等の職員）の方。またそうした道を志す、学生、社会人の方等。

お申込方法

右の二次元コードまたは以下のURLより、お申込みください。

以降の連絡は、お申込みをいただきましたメールアドレスにいたします。

<https://event.tosei-showa-music.ac.jp/global2025/>



※下記アドレスからのメールが受信できるよう設定をお願いいたします。Gmail、Yahooメールなどのフリーアドレスは自動返信メールが届かない場合があります。
global@tosei-showa-music.ac.jp

お問い合わせ

昭和音楽大学アートマネジメント分科会

MAIL global@tosei-showa-music.ac.jp

〒215-8558 神奈川県川崎市麻生区上麻生1-11-1
公演に関するお問い合わせ（昭和音楽大学チケットセンター）
044-953-9899（10:00～18:00 ※土・日・祝を除く）
URL <https://www.tosei-showa-music.ac.jp>

